

令和6年1月教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和6年1月24日(水) 午後2時から

2 場 所 教育プラザ 大会議室

3 出席者

教育長 早川 義裕 1番委員 大谷 和弘 3番委員 山縣 知子
4番委員 小林 晃彦

(教育長及び委員以外の出席者)

教育部長 市川均、教育総務課長 瀧本幸次、教育総務課参事 小林秀智、教育総務課参事 石澤克明、学校教育課長 牧井創、学校教育課参事 水澤一彦、社会教育課参事 宮崎英紀、社会教育課副課長 竹内巨樹、文化行政課長 新保誠吾、スポーツ推進課長 吉田正典、高田幼稚園長 瀧口寿美子、教育センター所長 竹内学、高田城址公園オーレンプラザ館長 岩野俊彦、高田図書館長 小暮ひろ子、直江津学びの交流館長・直江津図書館長 渡辺富士雄、青少年健全育成センター所長 池田隆、歴史博物館長・小林古径記念美術館長 宮崎俊英
事務局 教育総務課副課長 小酒井洋平、教育総務課副課長 佐藤晴美、企画係長 秋山大樹、企画係主事 八木春佳

4 傍聴人 1人

5 会議に付議した事件

- 議案第1号 公の施設における上越市教育委員会印等の押印手続の見直しのための関係規則の整備に関する規則の制定について
議案第2号 上越市文化財調査審議会臨時委員の委嘱について
報告第1号 専決処分した事件の承認について(令和5年度上越市一般会計(教育費)補正予算(専第6号))

教育長開会宣言 午後2時

会議録署名委員の指名 大谷 和弘 委員

教育長 昨年12月に本間委員が辞職されたことにより、後任の委員が任命されるまでの間、2番委員が欠員となる。議席番号については、変更せずそのままとしたい。よろしいか。

教育委員 同意

教育長 それでは、議席番号はそのままとさせていただく。
議案第1号公の施設における上越市教育委員会印等の押印手続の見直しのための関係規則の整備に関する規則の制定について、説明を求める。

教育総務課長 このたびの規則制定は、市の押印見直しの取組として、公の施設における利用承認通知書及び減免決定通知書への公印の押印を省略する取扱いに変更するため、教

育委員会の所掌する事務に関する規則の様式中から、「印」を削ることを定めるものである。

実施期日は、令和6年2月1日である。

教 育 長 報告について意見、質問を求める。

意見、質問なし

教 育 長 それでは、議案第1号について、ご承認いただけるか。

原案どおり承認

教 育 長 議案第2号上越市文化財調査審議会臨時委員の委嘱について、説明を求める。

教育総務課長 上越市文化財調査審議会は、教育委員会の諮問に応じ、文化財に係る事項を調査若しくは審議し、又は必要と認める事項を建議する機関として設置しているものである。

このたびの委嘱は、令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震による文化財災害復旧について審議するため、3名の専門家を臨時委員に委嘱するものである。

任期は、令和6年1月26日から令和6年能登半島地震による文化財災害復旧に係る審議終了までである。

教 育 長 報告について意見、質問を求める。

大 谷 委 員 文化財の被害は市全体でどのくらいあったのか。

文化行政課長 指定文化財は373件あり、無形文化財や記念物を除くと、今回被害を受けた可能性のあるものは284件ある。そのうち現時点で被害状況を確認できているものは245件、確認中が16件、今後確認するものは23件ある。現在被害が確認できているものは13件あり、内訳は建造物7件、彫刻5件、歴史資料が1件であるが、倒壊や破損といった大きな被害は確認していない。国登録有形文化財は、市内に44件あるうち、9件の被害を確認した。登録文化財は築50年以上の建造物が基本的な基準になるため、被害が大きいものもある。これらについては、所有者と相談し、どういった補修をするのか意向を聞きながら進めていきたいと考えている。

教 育 長 それでは、議案第2号について、ご承認いただけるか。

原案どおり承認

教 育 長 報告第1号専決処分した事件の承認について（令和5年度上越市一般会計（教育費）補正予算（専第6号））、説明を求める。

教育総務課長 このたびの専決処分は、1月1日に発生した令和6年能登半島地震により被災した市立小・中学校55校、体育施設6施設、水族博物館及び高田城三重櫓の迅速な復旧対応を行うため、地方自治法第179条第1項に基づき、補正予算の専決処分を行うにあたり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により市長から意見を求められたことについて、上越市教育委員会教育長に対する事務の委任及び専決規則第3条の規定に基づき、専決処分により異議のない旨を回答したものである。

主な補正内容について、一括して説明する。

小学校災害復旧費及び中学校災害復旧費は、校舎外壁や床等のクラック補修、体育館天井部材の補修に係る経費等、7,050万円の増額である。

体育施設災害復旧費は、上越市総合体育館ほか5施設の外壁及びアリーナ天井部材の補修に係る経費等、2,690万円の増額である。

水族博物館災害復旧費は、水族博物館うみがたり大水槽の擬岩が剥離し、隙間が

生じた箇所の補修に係る経費、200万円の増額である。

高田城三重櫓災害復旧費は築地塀北面及び南面に生じたクラックの補修に係る経費、100万円の増額である。

教 育 長 報告について意見、質問を求める。

山 縣 委 員 資料の写真が小中学校の大きい被害という認識でよいか。また、体育施設はダクトカバーが落ちているが、通常どおり使用できているのか。

教育総務課長 写真のような被害の箇所が多い。体育施設の天井には落下防止ネットがあるため、何かが落下してすぐに被害が出るということはない。しかし、速やかに修繕をしていきたいと考えている。

スポーツ推進課長 総合体育館のアリーナはまだ修繕が終わっておらず、3月15日までの工期で発注している。修繕完了までの間、予約していた人には直接説明し、代替施設を案内している。また、大会の予約もあったが、開催を断念したり、他の体育施設と一体となってしまう大会はその体育施設だけで行うなどの対応をしている。総合体育館については、利用者にご迷惑をかけている状況である。

小 林 委 員 能登半島地震で動いた断層の両端でさらに大きな地震が起きる可能性があるという指摘もされている。佐渡沖の断層が大きくずれた時のことが心配である。今回は震度5弱だったが、今後それ以上の地震が起きた時に、学校における危険箇所、棚などの危険な部分の安全点検が必要だと思うが、実施しているのか。

教育総務課長 今回の地震で棚等が倒れることがあったので、地震対策に必要な消耗品はないか学校に照会をかけている。それに必要な予算を今回見ているので、学校からの報告を受けて対応していきたいと考えている。

教育総務課参事 現在の校舎等の施設は基本的に昭和57年以降の新耐震基準の建物であり、震度6から震度7でも倒壊することがないように設計されている。また、それ以外の建物についても全ての学校施設で耐震診断を実施し、現行の規定と同様の強度があるよう耐震補強している。今回の地震では被害もあったが、強度を弱めるような被害はないと認識している。

小 林 委 員 中越地震の時、山古志中学校は1か月前に耐震補強工事をしていたが、校舎が歪んで使えなくなった。どれだけ対策をしても100%大丈夫ということはないが、絶えず安全の観点から見直しをしてほしい。

教 育 長 学校の中で改善できることもある。今後の余震に備えるよう、安全点検や確認を学校に周知してほしい。

教 育 長 それでは、報告第1号について、ご承認いただけるか。

原案どおり承認

閉会宣言 午後2時24分

令和6年2月16日

上越市教育委員会

教育長 早川 義裕

会議録署名委員 大谷 和弘